

第28回 講演会

# 雪崩から 身を守るために

# 10/31

土 Sat  
10:00  
~  
18:00

会場 北海道大学 高等教育推進機構 大講堂  
札幌市北区北17条西8丁目

〈講演会をより理解するための参考図書〉



「雪崩教本」「山岳雪崩大全」  
(山と溪谷社)

10:00 開会 山野井克己 (公益社団法人日本雪氷学会北海道支部 理事)

10:05 雪と雪崩の科学  
-10:55 尾関俊浩 (雪崩事故防止研究会・雪氷災害調査チーム・北海道教育大学)

11:00 積雪安定性評価  
-11:15 榊原健一 (雪崩事故防止研究会・雪氷災害調査チーム・  
MountainSafety.info・北海道医療大学)

11:20 北海道のエアレスキューについて～航空救助活動～  
-12:10 北條二郎 (北海道防災航空隊 隊長)

12:30 実演 会場：北海道大学陸上競技場  
-13:10 雪崩事故現場におけるエアレスキュー実演

14:00 雪崩のリスクマネジメント～行動と装備～  
-14:50 大西人史 (雪崩事故防止研究会・雪氷災害調査チーム・  
北海道立総合研究機構)

14:55 雪崩サーチ&レスキュー (AvSAR)  
-15:30 榊原健一

15:50 雪崩事故の医学  
-16:40 及川欧 (雪崩事故防止研究会・雪氷災害調査チーム・旭川医科大学)

16:45 2019/2020  
-17:45 公益社団法人日本雪氷学会北海道支部雪氷災害調査チームによる  
雪崩事故調査報告

- トマム山 ・ 敏音知岳 ・ 羊蹄山 ・ ニトヌプリ ・ 武佐岳の雪崩事故  
フランス人1名死亡 イギリス人1名死亡 日本人1名死亡 1名負傷 2名負傷
- 白馬乗鞍岳裏天狗・スラロームプロービングによる世界初の救助事例  
尾関俊浩・大西人史・阿部幹雄 (雪崩事故防止研究会)

17:50 閉会 田鍋颯一 (北海道大学体育会山スキー部第108シーズン主任)  
阿部幹雄 (実行委員会委員長・雪崩事故防止研究会代表・雪氷災害調査チーム)

※本講演会のアンケート (右の QR コードを読み取る) にご協力をお願いいたします。  
お答えいただいた内容は、今後の講演会・講習会のための貴重な資料として使わせていただきます。



主催 北海道大学体育会山スキー部・雪崩事故防止研究会・公益社団法人日本雪氷学会北海道支部  
後援 公益社団法人日本山岳会・公益社団法人日本山岳ガイド協会・公益社団法人東京都山岳連盟・株式会社山と溪谷社



講演会事務局  
お問い合わせ



雪崩事故防止研究会 事務局  
〒064-0921 札幌市中央区南21条西8丁目1-37 (株)石田商店内  
TEL:011-521-0767 E-mail:info@assh1991.net

<http://www.assh1991.net>



## 講演者プロフィール

10:05-10:55 「雪と雪崩の科学」

尾関 俊浩 (おぜき としひろ) 16:45-17:45 「雪氷災害調査チームによる雪崩事故調査報告」



1968年北海道生まれ。北海道教育大学教授。博士(理学)。北大基礎スキー部OB。2010～2014年(公社)日本雪氷学会雪崩分科会長、2017年～同理事、同北海道支部雪氷災害調査チームメンバー。第52次南極観測隊(夏隊)。雪氷物理学を専門とし、雪崩や着冰雪などの雪氷災害科学の研究を行なう。また、雪や氷を使った理科教材の研究にも取り組んでいる。共著に「山岳雪崩大全」、「雪崩教本」、「積雪観測ガイドブック」。

11:00-11:15 「積雪安定性評価」

榊原 健一 (さかきばら けんいち) 14:55-15:30 「雪崩サーチ&レスキュー (AvSAR)」



1968年奈良県生まれ。北海道医療大学リハビリテーション科学部准教授。(公社)日本雪氷学会雪崩分科会幹事、同北海道支部雪氷災害調査チーム。NPO法人北海道雪崩研究会理事、雪崩事故防止研究会、Avalanche Canada、カナダ雪崩協会 各会員。MountainSafety.info 雪崩救助インストラクタ。共著に「山岳雪崩大全」、「雪崩教本」。

北條 二郎 (ほうじょう じろう) 11:20-12:10 「北海道のエアーレスキューについて」



1977年北海道生まれ。北海道防災航空隊隊長。2018年より旭川市消防本部から北海道防災航空隊へ派遣され、副隊長を経て2020年春から隊長。旭川市消防本部において救助隊を長く経験。航空救助活動の特殊性から、雪崩事故対応時における地上支援の重要性と注意すべき点について伝えたい。

14:00-14:50 「雪崩のリスクマネジメント」

大西 人史 (おおにし ひとし) 16:45-17:45 「雪氷災害調査チームによる雪崩事故調査報告」



1964年北海道生まれ。(地独)北海道立総合研究機構研究職員。三段クラブ代表、雪崩事故防止研究会副代表。(公社)日本雪氷学会北海道支部雪氷災害調査チーム、カミフ会。雪崩事故調査のほか講習会の講師や講演など、雪崩事故防止に関わる活動を行なっている。共著に「山岳雪崩大全」「雪崩教本」。

及川 欧 (おいかわ おう) 15:50-16:40 「雪崩事故の医学」



1963年青森県生まれ。旭川医科大学病院リハビリテーション科医師。雪崩事故防止研究会、(公社)日本雪氷学会北海道支部雪氷災害調査チーム。第56次南極観測隊(越冬隊)の医療担当。PUSHプロジェクトの心肺蘇生講習会を通して市民に命に関わる啓発活動を行っている。共著に「山岳雪崩大全」。

阿部 幹雄 (あべ みきお) 16:45-17:45 「雪氷災害調査チームによる雪崩事故調査報告」



1953年愛媛県生まれ。写真家、ビデオジャーナリスト。雪崩事故防止研究会代表。(公社)日本雪氷学会北海道支部雪氷災害調査チーム前代表。北大山とスキーの会。ヒマラヤの遭難で生き残り、長く遺体の捜索収容活動を行なってきた。第49、50、51次南極観測隊(夏隊)の野外観測支援隊員。著書に「那須雪崩事故の真相～銀嶺の破断」「生と死のミニャ・コンガ」ほか多数。

古市 竜太 (ふるいち りゅうた) 「総合司会」



1971年千葉県生まれ。マウンテンガイド・コヨーテ代表、ニセコウインターガイド協会理事、北海道山岳ガイド協会理事、(公社)日本雪氷学会北海道支部雪氷災害調査チーム、日本テレマークスキー協会公認インストラクタ。北海道で暮らすため札幌の農業関係企業に就職したのち、ニセコで山岳ガイドとして活動を開始。身近に自然を感じ、環境にインパクトをかけない生活実践のため、ガイドとして活動している。